

# 業務速報

2013年度年末手当および商品券の支給に関する第3回団体交渉

## 年末手当3.0ヶ月回答！ 5万円分の商品券についてはまったく無視！

本部は11月8日、2013年度年末手当第3回団体交渉を開催し、会社が回答を示しました。

会社は回答にあたって、第2四半期の単体での営業収益が対前年比で103.4%となり、通期における業績予想も上方修正したとしながらも、海外景気の下振れや消費税増税による景気への影響などのリスク要因を背景に楽観できる状況にないとししました。さらには当社の賃金水準は極めて高いとし、日々尽力した社員の努力に精一杯報いると言いながらも、組合要求3.5ヶ月をはるかに下回る支給月数3.0ヶ月を回答しました。

また、私たちが要求していた5万円分の商品券について、まったく無視した回答となっています。本部は「大いに不満である」と表明し、持ち帰り検討の結果、再申し入れを行います。回答の詳細は以下の通りです。

### 2013年度年末手当の会社回答

1. 支払い月数は、3.0ヶ月分とする
2. 支給日は、12月10日以降準備でき次第とする
3. 支給額は35歳ポイントで945,000円
4. 基礎給は35歳ポイントで315,000円  
(基礎給…基本給、調整手当、扶養手当、役付手当、補償措置)

#### 【会社の回答に当たっての考え方】

当社の第2四半期累計期間における業績は、運輸収入が対前年比で103.4%となり、通期における業績予想も上方修正したところですが、今後の経営環境を見通すと、海外景気の下振れや消費税増税による景気への影響をはじめとする様々なリスク要因が存在しており、決して楽観できる状況にはありません。

また、当社におけるこれまでの期末手当の水準は、J R 他社はもちろん世の

中の相場と比較しても極めて高い水準にあり、鉄道事業を中心として公共性の高い事業を営む当社としては、期末手当の業績給としての性格を勘案しつつも、その水準については慎重に判断すべきものと考えています。

以上の観点を踏まえ、今年度上期はお客様からの信頼を損なうような大きな事故もなく、頻発した自然災害による輸送障害へも適切に対応するなど、日々の安全安定輸送の確保に尽力した社員一人ひとりの努力に会社として精一杯報いるとともに、中央新幹線計画や名古屋駅新ビル計画などの各種施策の着実な推進を通じた当社の経営基盤のさらなる強化や次世代を見据えた効率的な業務運営体制の構築に向け、全ての社員が一層奮起することを強く期待して、年末手当の安定的支給ベースである2.9箇月分に、今回は0.1箇月分を上積みし、3.0箇月分支給することとしました。

社員の皆さんには、今回の回答内容を踏まえ、当社で働くことに自負と責任感を持ち、今後とも安全安定輸送の確保を最優先に、より質の高いサービスの提供を継続することを大前提としつつ、決して惰性に流されることなく、業務全般にわたる徹底的な効率化や低コスト化、さらには技術レベルの向上に不断に取り組んで頂きたいと思えます。併せて、社員一人ひとりが法令や規程類を遵守し、お客様からの信頼に応え続けるべく緊張感をもって業務に精励することを強く期待します。

### 【主な議論】

組合：JR東海労の要求は3.5ヶ月分である。要求からしてあまりにも低すぎる回答である。

会社：この回答が精一杯である。

組合：中間決算で最高益を記録したのだから3.5ヶ月分の支給は可能だ。回答に不満を表明する。

会社：会社としては回答の通りである。

組合：年末手当の原資を明らかにすること。

会社：これまで通り示すことはしない。

組合：基準日現在の社員数は何名か。

会社：これも示すことはしない。年度末時点の社員数は有価証券報告書に載せている通りだ。

組合：5万円分の商品券について回答はないのか。

会社：回答した通りである。

組合：商品券は支給しないということか。年末手当の低額回答と商品券を支給しないことについて大いに不満だ。持ち帰り検討とする。

以上

本部は、「回答」を不満として持ち帰り検討の結果、再申し入れを行います。